



安倍改憲を阻止するために

～私たちは何をなすべきか～

第一部 13:30～朗読

ひめゆりの少女

吉原公一郎原作
「野火燃ゆる」より

前田真里衣さん



(劇団・民芸)

詳細裏面

上智大学教授

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める

市民連合呼びかけ人

第二部 14:05～

講演

中野晃一さん

7月2日投開票の東京都議会議員選挙で自民党は歴史的な大敗北を喫しました。

この間の安倍政権の憲法をないがしろにする暴走に対して市民が下した審判です。

しかし、安倍首相は改憲の企てを捨ててはいません。

改憲を阻止するために私たちは何をなすべきなのか。

市民連合の呼びかけ人として奮闘中の中野教授にお話を伺います。

(演題は7月末に決定しました。激動期です。講演開催日までに変化があればその段階でのお話になります。)



中野晃一さんプロフィール

上智大学国際教養学部長・教授。

1970年東京生まれ。政治学(日本政治、比較政治、政治思想)。

東京大学(哲学)および英国オックスフォード大学(哲学・政治学)の両校を卒業ののち、米国プリンストン大学にて政治学の修士号および博士号を取得している。

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合、安全保障関連法に反対する学者の会、立憲デモクラシーの会などの呼びかけ人。

主著『つながり変える 私たちの立憲政治』(大月書店)、『右傾化する日本政治』(岩波新書)、『戦後日本の国家保守主義—内務・自治官僚の軌跡』(岩波書店)など。

9月9日(土)

13:30～16:45 (開場13:10)

会場: 明治大学・リバティタワー

1階 1012号室 (266人収容)

JR中央線・御茶ノ水駅下車5分 (地図裏面)

会費: 参加費: 1,000円 (要予約)

高校生・大学生・大学院生: 500円

お申込みは、最寄りの世話人、またはHPまでお早目をお願いいたします。

第一部 朗読

吉原公一郎原作「野火燃ゆる」より

劇団民藝所属。玉川大学文学部芸術学科演劇専攻卒業。1994年瀧沢修演出「終末の刻」天草四郎役でデビュー(サンシャイン劇場)。「隅田川」「鹿鳴館」「子午線の祀り」「喜劇の殿さん」(読売演劇賞作品群受賞)「マダムバタフライ」「バーバラ少佐」タイトルロールほか。中本信幸約束ナズム・ヒクメットの歌と朗読、「楽屋」でイスタンブール・モスクワ他海外公演にも参加。吉原公一郎作・ひめゆりの朗読「野火燃ゆる」公演を20年以上続けている。

吉原公一郎作(初演観世榮夫演出)「群読日本国憲法」公演は13年目2017年7月30日にも上演した。

10月18日~24日迄 船戸与一 作満州国演義 森井睦作・演出「燃え上がる荒野」(両国シアターX)に出演予定。

女優 **前田真里衣**さん (まえだまりえ)



ひめゆりの少女

明治大学・駿河台キャンパス リバティタワー1階 1012号

会場

